

(様式 1-5)

飯館村 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和3年8月12日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	飯館YOITOKO発見! ツアー	事業番号	A-1
事業実施主体		飯館村	総交付対象事業費		25,892千円
既配分額		千円	当該年度交付対象事業費		2,332千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力発信事業					
①情報発信事業					
小計 2,332千円					
i) 風評動向調査					
ii) 体験等企画実施					
2,332千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成					
iv) ポータルサイト構築					
②外部人材活用					
小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用					
ii) 地域の語り部の育成					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
・ 令和4年度年2回以上、令和5年度以降年4回以上のツアー実施					
・ 飯館村の歴史、文化財の解説、空間放射線量の現状周知、グルメ・観光情報等をまとめたポータルサイトの構築等（令和3年度～令和5年度）					
・ 飯館村の地域の伝統や魅力等の現状を紹介するガイドブックの作成 1,000部（令和4年度）					
・ 企画立案のための検討委員会（仮）の設置（令和3年度以降）					
・ ツアー交流会で披露する民俗芸能団体の育成（令和3年度以降）					
・ ツアーの様子をポータルサイトで公開					
【アウトカム】					
・ ツアー一定員数に対する申込者充足率100%以上					
・ 参加者アンケートの満足度90%以上					
・ ポータルサイトのアクセス数30,000件/年以上					
事業概要					
事業実施主体		飯館村			
主な企画内容		飯館村の様々な魅力を著名なゲストと探り、風評払拭と交流人口増を図る。ツアー訪問先の文化財周辺の説明板等からQRコードでリンクするポータルサイト構築及びガイドブック作成・頒布による風評払拭。			
主な事業の実施場所		飯館村内文化財・保存木所在地（28か所）、飯館村交流センター（交流会場）			
事業の実施期間		令和3年度～令和8年3月			
企画内容					
【実施体制】					
①実施主体：飯館村					
②連携団体及び役割分担					
企画立案には村の広報、商工会、農業団体、文化財保護関係者、民俗芸能団体の代表等も参加し、ツアー内容と発信する情報の内容について協議する。					

【現状と課題】

<現状>

- ・飯舘村は、原発事故直後の放射性物質拡散図のイメージ等が残り、除染で放射線量が大幅に低下したにもかかわらず、未だに高濃度汚染地域との認識が払拭しきれていない。
- ・阿武隈山系唯一の古墳群を始めとする貴重な文化遺産や絶滅危惧種の動植物が数多く残る豊かな自然、復活を図る農業やそこから生まれた農産物をふんだんに使ったグルメ等、飯舘村の様々な魅力がありながら、全国的な認知度は低い。

<課題>

- ・風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略にもあるように、風評の払拭には「知ってもらおう」、「食べてもらう」、「来てもらう」の3つの視点がポイントとなる。体験型ツアーの実施及び連携したポータルサイトの構築・発信ガイドブックの作成により、効果的な情報発信により、飯舘村の様々な魅力を県外を中心に伝えることで風評払拭に取り組んでいく必要がある。

【現状の課題に対するこれまでの取組】

- ・「オオカミ絵ツアー」、「コンサート」等の自主文化事業による関東圏などからの誘客
- ・村内にあるリアルタイム線量計の表示サイトの作成、村ホームページへのリンク

【事業実施により得られる効果】

- ・ツアーを重ねることにより、飯舘村の知名度や評価が向上し、誤解・風評の払拭につながる。
- ・郷土料理の提供や民俗芸能の披露等を通して、村民自身の自信の回復や復興への意欲の高め、村民一人一人が自発的に風評払拭に向けた行動を起こすよう意識改革を図る。
- ・これまでの取組は単発的なものが主で、村の魅力を総合的に組み合わせ、村の全貌を知ることが目的とした企画は過去に無く、これまでに無い規模の誘客とそれに伴う風評払拭への波及効果が期待される。また、近年、歴女や時代劇アニメ、パワースポット等が大きな注目を集めているところである。これらに関心のある層をターゲットとした取組は行ってきておらず、新たな需要の発掘につながることももあり、村の魅力の一つである「文化財」を利用した取組は有効と考える。

【今年度事業における具体的な取組内容】

令和3年度は、ツアー内容の検討組織の立ち上げ、ツアーの課題への対応、広報活動・ターゲット層等の検討を行うとともに、短編のオンラインツアー動画を作成し、村のサイトで公開する。作成するツアー動画の題材は、飯舘村の有する観光資源である関沢古墳群、二枚橋の水ばしょう（満開時の写真等も使用）、田植踊の練習現場、郷土料理を出す農家レストラン等とし、飯舘村への関心を高めることを狙いレポーター目線の映像とオフコメントで動画を作成する。また、ツアー動画の作成に当たっては、委託事業で行うことなく村の職員の直営で行うこととする。

- ・ツアー内容検討会のための識者等への報償費：100千円
- ・オンラインツアー内で使用する衣装、備品等：835千円
- ・オンラインツアー訪問先2か所の会場準備委託料：1,397千円

【飯館村】飯館YOITOKO発見！ツアー実施事業

原発事故直後の放射性物質拡散図のイメージから、未だに汚染地域という誤解すら残る飯館村。本事業では、文化財や郷土料理などをフックとして、全国にコアなファンを持つ著名人らとともに村を巡り、正しい現状についての理解促進と風評払拭を図る。

情報発信の必要性

- ・ 原発事故直後の放射性物質拡散図のイメージを発端に、**県内でも特に根強く残る飯館村への風評の払拭**
- ・ 認識を改めるため、**村を実際に訪れ現状を見る必要性の高まり**
- ・ 文化財やグルメなど、村を訪れるきっかけとなる**魅力の訴求**

汚染地域との誤解も残る飯館村を実際に訪れ、認識を是正し、風評払拭につなげる取組が求められている

情報発信を行う体制

- ・ 村の商工団体や農業団体、文化財保護審議会、郷土料理研究者等と連携した**ツアーの実施**
- ・ ポータルサイトを構築し、広く**文化財等の詳しい村の魅力紹介とポイントごとの放射線量を表示するとともに、文化財等の説明板のQRコードとリンク**させ、ツアー時以外の訪問者に対応する
- ・ ガイドブックによる**飯館の魅力紹介**

情報発信の実施

A. 体験等企画実施

文化財やグルメ等、飯館村の持つ様々な魅力を、全国にコアなファンを持つ著名人と共に巡るツアーを実施し、体験を通して飯館村の正しい現状を認識してもらうことで、風評払拭につなげる。

- テーマ例
「文化財・民俗芸能」「特産グルメ」「自然」「カーボンフリー」
- 企画例
・阿武隈山系唯一の古墳「関沢古墳群」と「塩の道」「オオカミ絵」をたどり、飯館の歴史を知る



A. ポータルサイト構築

文化財説明板をリンクし、ツアー紹介と放射線の現状周知を行う。



A. 情報発信コンテンツ作成

ガイドブックを作成し、ツアー内容と村の紹介を行う。



▶ ツアー参加者が飯館村の正しい現状を把握し、その認識が拡散されることによって風評が払拭される

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

ツアーの課題への対応や、広報活動・ターゲット層等を検討することにより、令和4年度からの効率的な実施に向けた準備を行うことができる。

令和3年度に短編のオンラインツアー動画を作成し、村のホームページに掲載することにより、令和4年度から実施する風評払拭に向けたツアーの周知を行うとともにツアーへの好奇心、興味を高めることで、ツアー実施の効果を高める（動画視聴 1,000回を目標とする）。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【アウトカム】

- ・ ツアー内容検討会の2回開催
- ・ 民俗芸能の練習会10回開催
- ・ オンラインツアー短編動画の作成・ネット公開

【アウトプット】

- ・ ツアー内容およびPR動画内容の決定
- ・ 披露民俗芸能の決定
- ・ オンラインツアー短編動画視聴1,000回目標

【次年度以降の取組】※複数年度にわたって事業を実施する場合

令和4年度以降、ツアーを実施する。ツアーには全国にコアなファンを持つ著名人

（例：美術ライター・橋本麻里氏、料理研究者・野崎洋光氏、作家・柳美里氏ら）をゲストに呼び、全国的な集客を図る。また、令和4年度にはポータルサイト・ガイドブックの作成を行う。

<令和4年度>

- ・ 歴史散歩ツアー（仮称）を2回実施する費用（概算1,500千円）
- ・ 歴史散歩ツアー（仮称）で披露する民俗芸能に係る費用（報償費等）（概算250千円）
- ・ ツアー実行委員会（検討会を改組）のためのメンバー報償費（概算100千円）
- ・ ポータルサイト作成費用（概算1,000千円）
- ・ ガイドブック作成費用（概算500千円）
- ・ 歴史散歩ツアー（仮称）訪問先の会場準備委託料（概算990千円）
- ・ 歴史散歩ツアー（仮称）備品購入費（概算1,454千円）

<令和5年度>

- ・自然観察会・歴史散歩ツアー(仮称)を4回実施する費用(概算3,000千円)
- ・自然観察会・歴史散歩ツアー(仮称)で披露する民俗芸能に係る費用(報償費等)(概算250千円)
- ・ツアー実行委員会のためのメンバー報償費(概算100千円)
- ・自然観察会・歴史散歩ツアー(仮称)備品購入費(概算1,454千円)
- ・自然観察会・歴史散歩ツアー(仮称)訪問先の会場準備委託料(概算990千円)

<令和6年度>

- ・グルメ・歴史散歩ツアー(仮称)を4回実施する費用(概算3,000千円)
- ・グルメ・歴史散歩ツアー(仮称)で披露する民俗芸能に係る費用(報償費等)(概算250千円)
- ・ツアー実行委員会のためのメンバー報償費(概算100千円)
- ・グルメ・歴史散歩ツアー(仮称)備品購入費(概算1,496千円)
- ・グルメ・歴史散歩ツアー(仮称)訪問先の会場準備委託料(概算990千円)

<令和7年度>

- ・未来エネルギー・歴史散歩ツアー(仮称)を4回実施する費用(概算3,000千円)
- ・未来エネルギー・歴史散歩ツアー(仮称)で披露する民俗芸能に係る費用(報償費等)(概算250千円)
- ・ツアー実行委員会のためのメンバー報償費(概算100千円)
- ・未来エネルギー・歴史散歩ツアー(仮称)備品購入費(概算1,796千円)
- ・未来エネルギー・歴史散歩ツアー(仮称)訪問先の会場準備委託料(概算990千円)

各年度で予定している取組については、実施後の参加者の意見等を踏まえて、適宜変更していく。

【新型コロナ感染対策拡大防止対策】

- ・ツアー参加者の住所やワクチン接種等の情報把握に努め、当該地の感染状況に配慮する。
- ・ツアー実施時・民俗芸能の練習時等に、換気やソーシャルディスタンスに配慮する。
- ・その他マスク着用や手指消毒等、一般的な感染対策を徹底する。